

十勝から発信!!

農業

×

技術

×

オープン
イノベーション

が拓く未来

農林水産業を核に、地域が成長を続けていくためには、他分野の技術やアイデアを柔軟に掛け合わせて現場の課題を解決し、革新的なビジネスに結び付けていくことが大切です。

フードバレー構想に取り組む食の最先端地域・十勝で、オープンイノベーションが拓く未来の食と農業について、地元関係者や、農林水産省が推進する「知の集積と活用の場[®]」に集う研究機関や企業など多様な主体が出会い、意見を交わすシンポジウムを開催します。[「知」の集積と活用の場 ウェブサイト] <https://www.knowledge.maff.go.jp/>

10/3 水 於：とかちプラザ

14:00~18:15 (開場13:00)

**招待講演 (一財)日本気象協会 商品需要予測
プロジェクト マネージャー 本間 基寛**

「気象予測データが生み出す農業・食品産業イノベーションの可能性」

十勝の生産者等を交えたテーマ別ディスカッション

 「生産現場の課題を技術で解決!多分野の技術シーズとの
掛け合わせから生まれる新しいビジネスの可能性」

ポスターセッションによる交流、情報交換会

※プログラムの詳細は、裏面をご覧ください。

※情報交換会は18:30~20:00に、会費3,500円で実施します。

10/4 木

8:00~12:45


十勝における生産現場見学ツアー

【ルート1】岡田農場(更別村)試験圃場「データファーム」

【ルート2】鹿追町環境保全センター

※2つのルートから選んでいただけます。参加者がバスに同乗して移動します。

※訪問先は予定時間の範囲内で追加となる可能性があります。

 **10月3日(水)会場：とかちプラザ**


【住所】北海道帯広市西4条南13丁目1番地

【電話】0155-22-7890

● JR帯広駅から徒歩約3分

● とかち帯広空港から車で約40分

【主催】「知」の集積と活用の場[®] 産学官連携協議会 【共催】フードバレーとかち推進協議会、帯広市
【後援】スクラム十勝(国立大学法人帯広畜産大学、国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構北海道農業研究センター芽室研究拠点、地方独立行政法人北海道立総合研究機構畜産試験場、地方独立行政法人北海道立総合研究機構十勝農業試験場、公益財団法人とかち財団、独立行政法人家畜改良センター十勝牧場)
【参加方法】事前申込制 (FAX・メール・ホームページで。裏面ご参照)
【問合せ先】農林水産省 農林水産技術会議事務局 産学連携室 電話：03-3502-5530
【事務局】担当：五十嵐 電話：03-3556-6360 【E-mail】maff-session@libertas.co.jp


無料

シンポジウム

十勝から発信!!

農業

× 技術

× オープン
イノベーションが拓く
未来

プログラム

※プログラム内容は諸事情により変更となることがあります。

10/3 水 14:00~18:15 とかちプラザ

14:00-14:10

開会挨拶

(公財)とかち財団、農林水産省

1

『「フードバレーとかち」の活動状況』

帯広市 産業連携室

2

『「知」の集積と活用の場の活動状況』

農林水産省 農林水産技術会議事務局

14:40-15:20

招待講演 (一財)日本気象協会 本間 基寛 氏

『気象予測データが生み出す農業・食品産業イノベーションの可能性』



一般財団法人日本気象協会 商品需要予測プロジェクト マネージャー 本間 基寛 氏

近年、気象予測データを積極的に活用し、商品の需要を予測して過剰在庫を回避したり、売り切れを防ぐ企業が増えつつあります。また、SNS での人々のつぶやきを解析することで、「体感気温」を数値化し、それらを商品の需要予測に活用する動きも出ています。気象予測データが生み出す農業・食品産業イノベーションの可能性について、(一財)日本気象協会の本間基寛氏にご講演いただきます。

15:35-16:45

テーマ別討議

『生産現場の課題を技術で解決!多分野の技術シーズとの掛け合わせから生まれる新しいビジネスの可能性』

十勝の生産者が現場で感じている重要課題や将来ビジョン・ニーズに関する生の声を伺いながら、それを技術力で解決していく道筋について、「知」の集積と活用の場で研究開発に取り組む関係者らと交え、「畑作」と「畜産」の2つのテーマで議論します(※テーマ毎の会場に分かれて実施)。

1

[司 会]

NKアグリ(株)代表取締役社長・三原洋一氏

[討論者] 岡田農場・岡田昌宏氏、北王農林(株)企画販売部部長・藤原昇氏、前田農産食品(株)代表取締役社長・前田茂雄氏、農研機構北海道農業研究センター大規模畑作研究領域長・村上則幸氏、ほか

畑作

2

[司 会]

フィールド・フロー(株)代表取締役・渋谷健氏

[討論者](株)十勝加藤牧場 代表取締役会長・加藤賢一氏、(有)コスモス代表取締役・安藤智孝氏、(株)ノベルス代表取締役・西尾康宏氏、農研機構北海道農業研究センター酪農研究領域長・大下友子氏、ほか

畜産

17:00-18:15

ポスターセッション

農業関連の新技术や研究開発活動に関するポスター展示等による交流

『知』の集積と活用の場の活動主体である“研究開発プラットフォーム”や農研機構、スクラム十勝などの関係組織・団体が、自身の技術シーズ等に関するポスター等の展示を行いつつ来場者と交流し、十勝農業のニーズ・課題・ビジョンへの対応のあり方について共に話す機会です。※十勝地域の企業・団体もご出展いただけます。(別途お申込みが必要。出展希望者は開催事務局にご連絡ください。)

18:30-20:00

情報交換会(事前申込み・会費制、一人3,500円) ※とかちプラザ内レストランで開催

1
日
目

10/4 木 8:00~12:45 十勝における生産現場見学(バスツアー)

1 岡田農場(更別村)試験圃場「データファーム」
(十勝さらべつ熱中小学校)

訪問先では、試験圃場でのスマート農業の取組等を見学します。

2 鹿追町環境保全センター

訪問先では、バイオガス熱源を利用した陸上養殖施設等を見学します。

8:00 JR帯広駅前(集合) ⇒ 9:00頃より現場訪問 ⇒ 12:15頃 帯広駅着 ⇒ 12:45頃 とかち帯広空港着(解散)

※訪問先は予定時間の範囲内で追加となる可能性があります。また、「データファーム」訪問コースの方は、帰りの下車の順序が12:15頃 とかち帯広空港着 ⇒ 12:45頃 帯広駅着(解散)となる可能性がありますので、交通機関の切符手配などの際はご注意ください。

2
日
目

参加申込書

『十勝から発信!!農業×技術×オープンイノベーションが拓く未来』

開催事務局宛て FAX: 03-3511-2162 Eメール: maff-session@libertas.co.jp

受付開始 / H30年9月4日(火)

締 切 / 同年9月27日(木)

※団体で申込み場合は、Eメールで全員分の情報をお知らせください。いただいた情報はシンポジウム運営事務以外には使用しません。

所属機関名		住所	
参加者氏名	ふりがな	電話	
1日目の情報交換会への参加意向(○を付ける) ⇒	する / しない	Eメール	
1日目のテーマ別討議での参加テーマ(1つチェック) ⇒	<input type="checkbox"/> 畑作に参加 <input type="checkbox"/> 畜産に参加		
2日目の生産現場見学に参加するか(1つチェック) ⇒	<input type="checkbox"/> 岡田農場等のツアーに参加 <input type="checkbox"/> 鹿追町等のツアーに参加 <input type="checkbox"/> 参加しない		

[注]パソコンまたはスマホからも申込みます。⇒ <https://sc-form.jp/127/108/f57/> または 表面記載のQRコードにアクセスしてください。